

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援いんくる		
○保護者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66人	(回答者数) 41人
○従業者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所の職員は、障害児支援に関して10年以上の経験を有するとともに、保育士、公認心理師、言語聴覚士、社会福祉士等、いずれかの国家資格を有しており、障害児支援に関する熱意や専門性、経験を有している。	・事業所の理念である「地域で生き生きと生活する子ども」の実現をめざすために、多様な専門性を持つ職員一人ひとりが協力して支援に当たっている。 ・個別支援計画の作成や支援に当たっては、すべての職員が話し合いに参加し、共通理解をもって支援をしている。	・意識的に行っている取り組みを継続していく。
2	・児童発達支援事業所と同一敷地内に、保育所等訪問支援事業所、相談支援事業所（障害児、特定）を設置しており、「相談支援」から「発達支援」、「移行支援」や「地域支援」の各支援がシームレスに行いやすい環境にある。	・児童や家族の想いを第一に考え、児童等のニーズに応じた支援を行うよう努めている。 ・障害を含め、様々な個性を持つ人が、地域で共に生活をしていくことが、望ましいことと考えており、児童等が望むインクルージョン理念に基づく地域生活支援を行っていく。	・意識的に行っている取り組みを継続していく。
3	・事業所は山口市の中心部に立地し、併行利用先の保育施設等へのアクセスが容易であり、連携を取りやすい環境にある。	・当事業所は2024年4月開設の事業所であるため、地域の保育施設等の認知が十分ではないため、当事業所の方から出向いて連携をとる機会を多く設けるようにしている。	・意識的に行っている取り組みを継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・避難訓練の実施、施設設備や周辺環境等の安全点検等を実施しているが、保護者の皆さんへの周知が不十分である。	・避難訓練等の実施等について口頭で伝えているが、園からのたより、療育予定表等、文書での周知を行っていなかったことが周知不足の要因の一つとして考えられる。	今後、事業所内の掲示、毎月配布する療育予定表、2024年12月に開設した事業所ホームページなどを通して周知を図ってきたい。 また、避難訓練については、保護者の方が参加する訓練も実施したい。
2	・定員10名の児童発達支援事業所として、十分な広さを確保しているが、運動遊びや水遊びなど、活動内容によっては、スペースが十分ではないと感じられる。	・面積は十分であるが、部屋数が少ない、収納や仕切りが少ない、事業所が2階に設置してあるなど、活動に応じて療育環境を変えることが難しい。	・近くに公園、寺社、図書館などの施設がたくさんあるというストレングスを活用して、地域資源を活用してスペースの不足を補う工夫を行いたい
3	・地域の保育施設に通う児童との交流が難しい。	・当事業所は開設後日が浅いため、地域の保育施設の認知が十分ではない。 ・地域の保育施設との併行利用の児童は、併行先で交流ができているが、約一割の児童は年齢が低いなどの理由で地域の保育施設を利用しておらず、交流自体が難しい。	・積極的に地域に出ていく。 ・公園や公共施設などで、地域の子どもと同じ空間で遊ぶ機会を設ける。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				2024年12月1日	
子ども発達支援いんくる		利用児童数				66人	
		回収数				41人	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		環境・体制整備	1	33	4		
	2	32	0	0	9	・階段が少し不便です。 ・その日の課題が決まった場所においてあるので、子どもも一目でわかり、活動にとり組んでいると思います。	・階段の昇降ではご迷惑をおかけしています。歩行が不安定なお子さん、配慮が必要な保護者の方は階段昇降のお手伝いをさせていただきます。
	3	29	4	1	5	・運動のお部屋、お勉強のお部屋など活動内容に応じて分かりやすく区画されていてよいと思います。 ・療育に必要なものだけがおいてあるので、集中して取り組んでいます	
	4	39	0	0	1	・子どもをよく見ていただいていると思います。終了後のお話もとてもためになっていて助かります。 ・子どもの興味のある題材を用意していただき、丁寧な指導をされています。大変感謝しています	
適切な支援の提供	5	38	1	0	1	・子どもの好きなこと、好きなものを理解していただけて支援してくださっていると思います。 ・家庭での悩みを分かりやすくまとめていただき安心できます。 ・子どもの「好き」をしっかり把握してくださっていると思います。 ・面談で子どもに必要な課題を考え、支	
	6	34	1	0	5	・子どもをよく見ていただいていると思います。終了後のお話もとてもためになっていて助かります。 ・子どもの興味のある題材を用意していただき、丁寧な指導をされています。大変感謝しています	
	7	40	0	0	1	・子どもをよく見ていただいていると思います。終了後のお話もとてもためになっていて助かります。 ・子どもの興味のある題材を用意していただき、丁寧な指導をされています。大変感謝しています	
	8	37	0	0	3	・子どもをよく見ていただいていると思います。終了後のお話もとてもためになっていて助かります。 ・子どもの興味のある題材を用意していただき、丁寧な指導をされています。大変感謝しています	
	9	36	0	0	1	・状況を見ながら計画に合った教材で進行してくださっていると思います。 ・希望を取り入れた計画を立てて支援を行ってくれていると思います。 ・計画で立てた内容に合った課題を考えられています	
	10	35	1	0	3	・子どもの「できた」を大切に、繰り返し行ったことでクリアできたのを確認後、次のステップに移行していると思います。 ・何度か繰り返しを行い、子どもの「できた」が自信につながった頃に次のステップに移っていると思います。 ・成長に合わせて、課題の内容も見直しを	
	11	14	4	4	17	・いますぐ…ではなくても…、いずれ…交流する機会ができるようになったらいいな…と思います。 ・分からないが、週5日保育園に通っている、特になくても問題がない。 ・合現在、幼稚園通っています	約9割のお子さんが、地域の保育機関を利用しておられます。年齢が低いなどの理由で交流ができていないお子さんについては、地域の子育てサークルや公共施設などのイベントで交流を図ってきたいと考えています。
	12	40	0	0	1	・説明がありました。	
	13	39	0	0	1	・子どもの様子を把握したうえで計画を立てていただき、内容説明もうかがえました。 ・きちんと説明がありました。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	0	23	<ul style="list-style-type: none"> ・通い始めたばかりなので不明瞭ですが、よく話を聞いていただき、話していただくので、ペアレントトレーニングになっていると感じます。 ・研修等の案内はないが、日々アドバイスをいただいております、家族フォローがなされている。 ・「家族に対して」とはどこまでの範囲なのか？わかりません。 ・家でできることの相談は適切にしていると思いますが、研修会の情報提供などはまだありませんので、どちらともいえない 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施後、事業所内でサポートブック作成、ペアレントメンターとの交流会などを実施しました。他機関が実施している家族支援の事業については周知等を行っています。 今後、12月に開設した事業所ホームページも活用して情報提供を行っていきたいと考えています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	35	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在の状況を聞いてくださったり、通所時の支援内容を説明して下さいます。 ・日頃の様子を聞いてくださったり、通所時に行ったことの子どもの反応等を説明して下さいます。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅でごういうことをしたらいいなど、アドバイスがもらえたら嬉しい。また、ごういう面がありますなど教えてほしい(No.14のコメントと兼) ・通所時には、子どもの様子や不安に思うことなどを聞いてくださいますのでありがたいと思っています。 ・通所のたびに、子どもの不断の様子や不安に思うことなどの話を聞いてくださ 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループによっては、降園時間が遅くなるため、家族の方との長時間の面談の時間が持ちにくいことがあります。日を改めて対応させていただいたり、緊急性の高いことについては、電話やSNS等を活用の上、対応させていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものこと、そして私たちの思いをよくくみ取って下さり下さり、ありがたいです。 ・そう思います。 	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	4	26	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれ…後々…。少しずつ…。交流する機会が設けられていく…様になったら…と思います。 ・保護者同士の交流やきょうだい同士の交流の機会はないが、少人数のため親同士で会話などある。 ・私自身も忙しい日々なので、あまり交流などは望めず、申し訳ありません。 ・他の保護者の方々とお話ししてみたいなあとと思うこともありますが、会にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員10名の事業所であり、通園日数も月当たり1日から10日までと少ないこともあり、保護者の方の会が組織されにくいと考えますが、行事等を通して、保護者の方同士のつながりの機会を持ちたいと考えています。 ・きょうだい同士の交流については、きょうだい児の学校の長期休みの際に交流の機会を設けています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	1	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも親身になって聞いていただいています。 ・子どもの様子や就学で気になること等、相談時、話を聞いてもらえています。 	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	0	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	2	1	15		<ul style="list-style-type: none"> ・12月より事業所ホームページを開設しました。従来のSNSを利用した発信に加えて、ホームページによる情報発信も行って参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	3	0	27	<ul style="list-style-type: none"> ・されていると思いますが、見る機会がないのでどちらともいえないにしました。 	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2	2	30	<ul style="list-style-type: none"> ・説明があったかもしれないが、失念してしまいました。 ・されていると思いますが、見る機会がないのでどちらともいえないにしました。 ・安全だと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時対応のための訓練、マニュアル類の整備、事故発生時の対応等については、定期的実施していますが、今後、事業所内の掲示、事業所からの文書等でも記載し、周知を図っていきます。 ・災害発生を想定した訓練には、保護者の方の参加の機会も設けたいと観が背えています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33		1	12		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	3	0	19	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ怪我等もないため、よくわからない項目です。 ・されていると思いますが、見る機会がないのでどちらともいえないにしました。 ・説明がありました。 	
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	40	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・回を重ねるごとに子どもが慣れてきていることを感じ、嬉しく思います。 ・安心して過ごしていると思います。 ・自ら行きたがる場所で、毎回楽しく安心して通っています。 ・安心して楽しく通っています。本人自 		

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	38	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・親抜き場で行き渋りをしないのは初めてです（幼稚園、習い事等）すごくうれしく感動です。 ・子どもも先生が大好きで、お友達も大好きで、いつも「楽しかった!!」と、絵顔いっぱい帰ってきます。 ・子どもの興味のあるキャラクターを使った遊びを取り入れていただき、喜んで通っています。先生方も大好きみたいです。 ・基本的にどこへ行くにも行き渋りの息子がいるには自ら進んでいくので大変助かります。 ・通うたびに、少しずつですができること ・感謝しかありません、ありがとうございます。 ・我が子の困りごとがあった時など、いつも丁寧に寄り添って、とても暖かく支援してくださるので、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。 ・子どもにも保護者にも寄り添った対応をいただいていると思います。 ・いつも楽しい時を過ごさせてくださってありがとうございます!! ・大変満足しています。いつもありがとうございます。 ・子どもに寄り添ったかわりをしていただき、外での自己表現がうまくなったと感じます。 ・母子ともに喜ばれています。ありが
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・我が子の困りごとがあった時など、いつも丁寧に寄り添って、とても暖かく支援してくださるので、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。 ・子どもにも保護者にも寄り添った対応をいただいていると思います。 ・いつも楽しい時を過ごさせてくださってありがとうございます!! ・大変満足しています。いつもありがとうございます。 ・子どもに寄り添ったかわりをしていただき、外での自己表現がうまくなったと感じます。 ・母子ともに喜ばれています。ありが

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援いんくる					公表日 2024年12月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		外遊びや水遊び等、活動の関係でスペースが不足すると感じられる場合は、山口市の中心部に立地しているという特性を生かし、周辺の社会資源を活用するようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・発達支援室が二階にあるため、危険だと思うときは、職員が車まで送迎するようにして安全確保を心掛けている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・遊びや活動の空間を分け、安全に配慮や安心して過ごすことができるよう工夫している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		発達支援室に加え、運動遊びの部屋、個別対応の部屋を設け、児童一人ひとりの状況に応じて対応できるように工夫している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・全職員が参加することが難しい時があるため、朝のミーティング等できるだけ職員がそろった場面を活用して話し合いを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今回が初めてのアンケート実施である。アンケートでいただいた意見を踏まえて今後に生かしていきたい。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・今後、第三者評価の受審等、外部評価の実施を検討したい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修の案内が周知され、積極的に参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページの公開に合わせ、公表する予定です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ISPの作成に当たっては、児童発達支援管理責任者に加え、保育士や言語聴覚士、公認心理師、社会福祉士などすべてのスタッフが参画し共通理解の上、ISPの作成等を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ISPの実施に当たっては、児童発達支援管理責任者や保育士、言語聴覚士や公認心理師、社会福祉士などすべてのスタッフが共有し、ISPに沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝のミーティングは、支援開始まで約1.5時間の時間が設けられるため、ミーティング時に打合せ等を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・勤務時間等の関係で支援終了後に全員が揃っての振り返りを行うことが難しい場合には、朝のミーティングや支援の合間の時間を活用して振り返りや共有等を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎日、支援計画の内容を踏まえた記録を取っている。 ・ノートPCを職員一人ひとりに支給し、業務の効率化を図っている。記録は共有ディスクに保存し、各職員が記録の確認や支援内容の検証や改善につなげられる体制を整えている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・併行通園を行っている保育機関を訪問し、児童の様子や支援内容について共有する機会を作っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・卒園児がいないため、就学先との情報共有は行っていないが、今後、年度末に向けて情報共有を行う予定である。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達支援センターが主催する研修に積極的に参加しているが、スーパービジョンや助言等は受けていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・親子通園のグループで、先輩ママやペアレントメンターさんのお話を開催している。研修会や講演会の情報も適宜提供している。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送迎を行っていないため、登園日は、保護者等と話す機会がある。相談対応は適宜行っているが、就学に関する相談等、相談内容によっては、日を改めて対応を行っている。 ・親子通園クラスに、先輩ママに来てもらいました。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・父母の会はないが、親子通園のグループではお話会の企画、きょうだい児の託児等で交流がある。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・送迎を行っていないため、登園日は、保護者等と話す機会がある。相談対応は適宜行っているが、就学に関する相談等、相談内容によっては、日を改めて対応を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・利用者に対してはSNSを活用した情報発信を行っているが、12月中に開設予定の事業所のホームページを活用して、情報発信を行ってきたい。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ことば以外の手段でのコミュニケーションやコミュニケーションエイドなどの代替コミュニケーションも積極的に活用してコミュニケーションを図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域のお店に買い物に行ったり、公園や地域交流センター、お寺に遊びに行く機会を設けている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・利用前の面談等で確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・給食の提供を行っていない。おやつについては事前に利用児のアレルギーを把握し、保護者に確認の上、除去されているものを提供している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止のポイントは児童の状況に応じたより良い支援を行うことに尽きるとの視点から取り組みを行っている。 ・2025年2月20日に児童福祉の専門家を招聘し、「子どもの意思の尊重、最善の利益の優先考慮を考える」とのテーマで研修会を実施の予定であり、地域の障害児通所支援所等への公開も予定している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			